

大型クラゲ情報

日本海沿岸で大量出現する可能性は低い見込み

日本西方・全国の出現状況

(1) 日本西方の情報(独立行政法人水産総合研究センターとりまとめ、9月1日現在)

国際フェリーを使った目視調査により、8月17～23日の間、中国・青島沖の黄海中央海域、黄海、東シナ海北部海域、及び対馬海峡東水道で少量の大型クラゲの出現を確認しました。

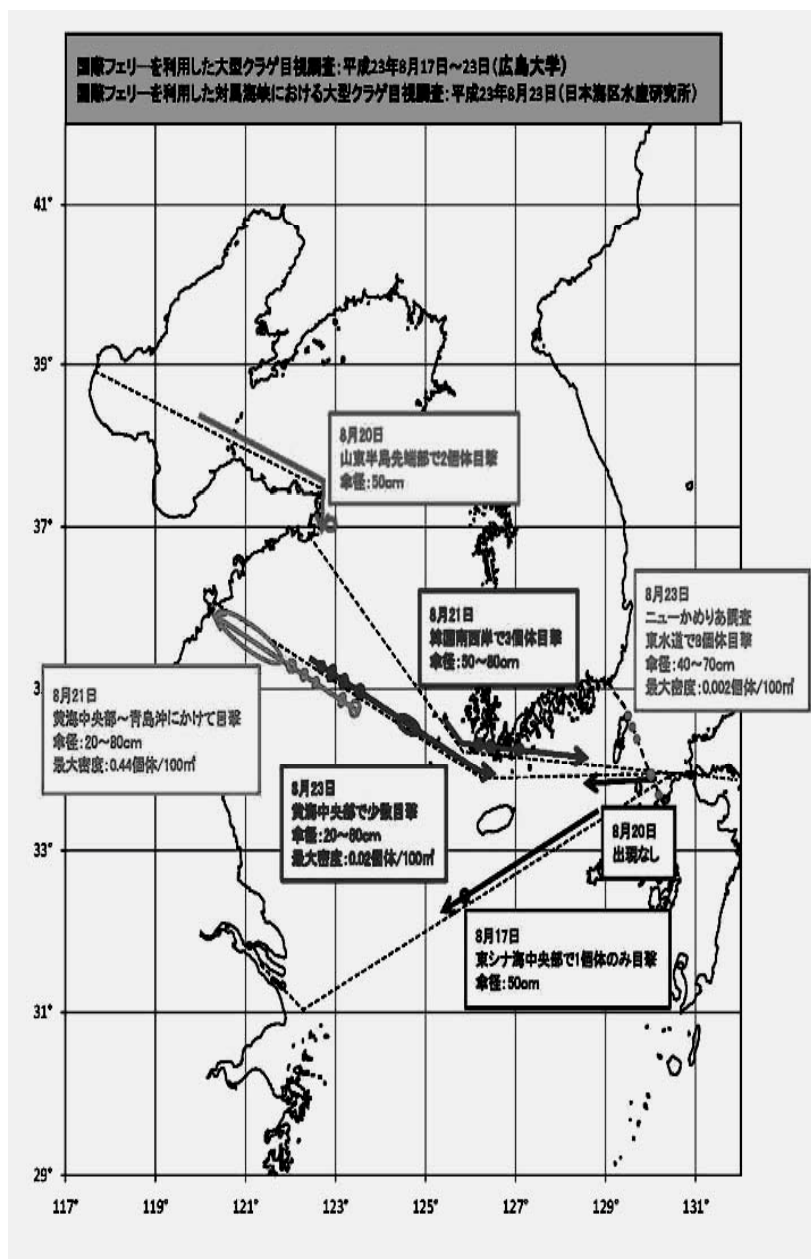
一方、対馬近海～山陰西部の日本海海域において調査を実施していますが、現在までのところ、大型クラゲは出現していません。

以上のように、現時点での大型クラゲの出現量は、黄海および東シナ海では出現量の少なかった平成20(2008)年度と同程度であり、対馬海峡を通過した大型クラゲも昨年同様非常に少ない状況にあります。

(2) 大型クラゲ出現予測について

(9月下旬の予測、9月1日発表)

(独)水産総合研究センターによると、今後の出現予測としては、日本海に流入した大型クラゲは、大部分が沖合域に運ばれることから、沿岸域では能登半島以西において散発的に出現する程度で、大量出現する可能性も低いとされます。



大型クラゲに関する最新情報が確認できますのでご活用ください。

<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html> (JAFIC)

http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage_top.html ((独)水産総合研究センター)

<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2599> ((地独)青森県産業技術センター水産総合研究所)

URL : http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/suisan_kuragetodo.html (青森県ホームページ)